

一般社団法人 日本医療薬学会  
平成 27 年度第 1 回定例理事会 議事録

一. 開催日時：平成 27 年 2 月 27 日（金） 13 時 ～ 17 時 30 分

二. 開催場所：日本医療薬学会会議室

三. 出席者

会 頭：佐々木 均

副会頭：奥田 真弘

理 事：青山 隆夫、井関 健、大森 栄、桂 敏也、川上 純一、北田 光一、  
吉光寺 敏泰、草井 章、千堂 年昭、谷川原 祐介、濱 敏弘、  
宮崎 長一郎、山田 清文、山本 康次郎

監 事：乾 賢一、大石 了三、山田 安彦

年会長：安原 真人(第 25 回年会)

陪席者

事務局：中澤 一純、星 隆弘

欠席者

副会頭：望月 真弓、松原 和夫

理 事：河原 昌美、山本 信夫

四. 議長：佐々木 均

五. 会議の成立

定刻において、議長より開会が宣言され、本理事会は理事 16 名の出席があり、定款第 38 条に定める定足数を満たしており、適法に成立している旨が報告された。

六. 議事の経過の要領及びその結果

1. 平成 26 年度第 6 回定例理事会議事録の確認

議長より、本年 12 月 18 日に開催された平成 26 年度第 6 回定例理事会(以下、前回理事会という)議事録を基に議事内容の確認が行われ、修正等がある場合には本理事会終了時まで指摘するよう要請があった。

続いて、資料に基づき、前回理事会開催日から昨日までの会務報告があった。

2. 協議事項

(1) 平成 26 年度事業報告

議長より、配付資料に基づき、平成 26 年度の事業報告(案)が説明された。協議した結果、

当該事業報告(案)の内容を再確認した上で、第7回定時社員総会(開催日:平成27年3月25日開催予定)に諮ることとなった。

#### (2) 平成26年度決算報告

谷川原理事より、配付資料に基づき、平成26年度の決算報告(案)に係る説明があった。前年度の決算状況は非常に良好な結果となったこと、その要因として第24回年会の収益が大きく、①当初の見込みよりも参加者が多かったために高い収益が得られたこと、②財務委員会において年会の収支予算書(決算書)の様式を改訂して透明性が高いものに変更したことにより、一部の過剰な支出を抑制できたことが説明された。協議した結果、当該決算報告が了承され、第7回定時社員総会に諮ることとなった。また、本学会の財政に係る議論が行われ、年会事業の収益が本学会にとって貴重な収入源となるため、今後も年会長と学会(財務委員会等)が連携した形で年会を運営することが重要であり、将来的にも本学会の安定的な財政運営に繋がるという意見に集約された。

#### (3) 平成26年度監査報告

各監事より、平成26年度の事業報告及び決算報告等の書類の確認と、会頭、副会頭及び財務委員長を対象としたヒアリングにより、同年度の事業及び決算、理事の職務の遂行状況が適切であったことを確認したことが説明された。また、本学会の職種別会員数に鑑み、大学教員、薬局所属者及び学生等が参画できる活動を企画し、幅広い職種の人材が関わる活動を推進すべきであるという主旨の意見があった。また、財政面では、決算報告での議論のとおり、前年度は非常に良好な運営がなされているが、今後も年会における収益確保の重要性が指摘された。当該監事監査報告は、第7回定時社員総会に諮ることとなった。

#### (4) 平成27,28年度 推薦代議員候補者の選出について

議長より、推薦代議員推薦委員会(2月6日開催)で協議され、地域性、職種、性別及び年齢等の条件を考慮の上選考された22名の平成27,28年度推薦代議員候補者の名簿が提示され、推薦理由が説明された。協議した結果、本推薦案は了承され、第7回定時社員総会に諮ることとなった。

#### (5) 第7回定時社員総会資料等

中澤事務局長より、本年3月25日の午後に開催される平成27年度第2回定例理事会及び第7回定時社員総会のスケジュールと会場に係る説明があった。

#### (6) がん指導薬剤師の新規認定申請に係る審査結果

濱理事より、前回理事会で審議を先送りしたがん指導薬剤師の新規申請に係る審査結果として、47名を認定可能と判定したことが説明された。協議した結果、当該47名をがん指導薬剤師として認定することが了承された。認定日は2015年4月1日、認定期間は2015年1月1日から5年間である。

#### (7) 平成27年度日本医療薬学会年間行事予定表案

議長より、平成27年度の本学会の年間行事予定として、社員総会、理事会、講習会等に

係るスケジュールが説明された。

#### (8) 「医療薬学」投稿規定（改訂案）

山田理事より、医療薬学の投稿規定に、臨床研究に関する倫理指針及び疫学研究に関する倫理指針に代わり、本年4月1日より新たに施行される「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を取り入れた投稿規定の改訂案に係る説明があった。主たる改訂事項として、人（試料・情報）を対象とした介入研究に際して、事前に倫理委員会の承認を取得すること、遵守した倫理指針を論文中に明記すること、インフォームド・コンセントの取得に係る事項を投稿規定に盛り込むなど、各指針等の遵守を徹底させること。併せて投稿者の利便性を改善するための軽微な改訂を行うことが説明された。協議した結果、本改訂は一部の文言を修正の上、了承された。

なお、改訂に際して新たに追記される「倫理委員会への付議が不要と判断された研究」について投稿する場合の規定が明確でないという意見が出されたため、本件に係る対応については、再度、医療薬学編集委員会で検討することとなった。また、山田理事より、投稿規定の改訂を受けて医療薬学に掲載している「医療薬学の研究発表における倫理的問題に関する指針」の改廃に係る相談があり、協議した結果、論文投稿に関わる部分を削除し、今後、学術集会での発表に特化する内容に改訂した上で、学会HP上で公表する方針となった。続いて、本年4月号（Vol.41-4）より論文以外のその他の寄稿として、オピニオン、トピックス、専門薬剤師リレーエッセイ、学会・研修会参加報告を毎月掲載することが報告された。

#### (9) 会費の遡及納入の嘆願に係る取り扱い

議長より、3名より提出された会費の遡及納入に係る嘆願書に係る説明があり、協議した結果、当該嘆願を了承することとなった。

### 3. 報告事項

#### (1) 第25回医療薬学会年会準備状況報告

安原第25回年会長より、昨年12月下旬より本年2月26日までの期間にわたって一般シンポジウムの演題を公募したところ、概ね45程度の募集枠に対して56題の応募があり、これから選抜する計画が報告された。また、今回の当該募集にあたって、オーガナイザーやシンポジストに本学会の会員資格者の組み入れ条件を求めたことにより応募が叶わないケースが見られたため、年会のあり方検討特別委員会で議論する必要性に係る意見があった。

#### (2) 第24回年会実施報告

奥田年会長より、第24回年会の収支決算に係る報告があった。今回は、想定を超える多数の参加者があり、盛況且つ大きな収益が得られたことが報告された。なお、今回の収益が、今後の年会の寄付依頼活動に影響を及ぼさないか懸念されることが言及された。

#### (3) 代議員選挙結果について

千堂理事より、昨年 12 月 22 日に開催された平成 26 年度代議員選挙管理委員会が作成した平成 27、28 年度代議員選挙開票録を基に、同選挙の開票結果として 213 名の当該選挙の当選者名簿、有権者数、投票者数、有効投票数及び投票率等の情報の説明があった。

#### (4) 委員会報告

##### 1) 平成 26 年度第 1 回代議員選挙管理委員会議事録

千堂理事より、報告事項(3)で報告された代議員選挙の開票が報告された。

##### 2) 平成 27 年度第 1 回がん専門薬剤師研修小委員会議事録

谷川原理事より、本年 1 月 27 日に開催された第 1 回がん専門薬剤師研修小委員会の議事内容として、27 年度のがん専門薬剤師集中教育講座の開催計画やプログラム作成に係る協議、がん専門薬剤師アドバンス研修（開催日：本年 9 月 5 日）への対応等に関する協議を行ったことが報告された。

##### 3) 平成 27 年度第 1 回薬物療法専門薬剤師研修小委員会議事録

中澤事務局長より、本年 1 月 28 日に開催された第 1 回薬物療法専門薬剤師研修小委員会の議事内容として、27 年度の薬物療法専門薬剤師集中講義の開催計画やプログラム作成に係る協議と、薬物療法専門薬剤師の研修ガイドラインの策定計画、年会における薬物療法専門薬剤師の認定申請のための症例サマリの書き方に係るセミナーを実施する計画が説明された。

##### 4) 平成 27 年度第 1 回拡大専門薬剤師育成委員会議事録

千堂理事より、本年 2 月 6 日に開催された第 1 回拡大専門薬剤師育成委員会の議事内容として、現行の認定薬剤師制度、薬物療法専門薬剤師制度の見直しと大学教員を対象とした認定制度に係る協議を実施したことが報告された。

##### 5) 平成 27 年度第 1 回国際交流委員会議事録

山本(康)理事より、本年 2 月 16 日に開催された第 1 回国際交流委員会の議事内容として、第 25 回年会における国際シンポジウムでは、2 時間枠の中で外国人及び日本人各 1 名の座長と中国、韓国、タイ国から招聘するシンポジスト 4 人による形式での実施計画と、外交人の招聘に際して支払う謝金、旅費及び参加費等に係る取り扱いを確認したことが報告された。

#### (5) 後援・後援名義使用依頼

議長より、本学会への後援依頼及び広報の依頼があった次の 5 件について、了承回答した旨の報告があった。

- ・「第 8 回日本在宅薬学会学術大会」（日本在宅薬学学術大会）
- ・「第 9 回日本緩和医療薬学会年会」（日本緩和医療薬学会）
- ・「第 9 回次世代を担う若手医療薬科学シンポジウム」（日本薬学会医療薬科学部会）
- ・「第 10 回日本薬局管理学研究会年会」（日本薬局管理学研究会）
- ・「名城大学薬学部第 5 回学生フォーラム」（名城大学薬学部、学生フォーラム）

なお、奥田副会頭より、現在、後援等の諾否を判断するための規定がないため、早急に規定の整備を進めるべきという意見があったため、今後、総務委員会（又は年会のあり方

検討委員会)で策定することとなった。

#### 4. 意見交換

議長より、平成27年度第1回拡大専門薬剤師育成委員会において協議した本学会の各認定制度の見直しと新たな認定制度の創設に係る意見交換が行われた。議長より、スライドを用いて提示された新たな認定制度案を基に意見が交換され、大枠では賛同する意見が多い状況であったが、一部の認定資格の要件や認定資格の名称について再考すべきという旨の意見が出たため、再検討した上で、改めて本理事会で意見交換することとなった。

以上をもって議事の全部の審議及び報告を終了したので、議長は17時30分に閉会を宣言し、解散した。